

# 一般入試前期B日程

## 国語

### I

出典 『日本語の歴史』(山口仲美) 岩波新書

日本語の歴史を「話し言葉」と「書き言葉」のせめぎ合いととらえる視点から読み直していく本です。敬体でわかりやすく書かれているので、文意を掴むのは容易でしょう。

**問1【漢字の書き取り・読みの問題】**(解答番号は①～⑤)

全問正答は受験者の21%でした。正答が最も少なかったのは「享受」でした。

**問2【空欄補充・前後の文脈から適語を選ぶ】**(解答番号は⑥・⑦)

空欄Ⅰは直前の「数種類の同音異義語」が、空欄Ⅱは直前の「言い訳や弁解を潔しとせず」がヒントです。正答率はそれぞれ86%、41%でした。空欄Ⅱで④を選ぶ誤答が目立ちました。

**問3【文脈把握と内容理解に関する問題】**(解答番号は⑧)

傍線部Aの後の2段落をよく読めば正答はわかるはずです。正答率は79%でした。

**問4【文脈把握と内容理解に関する問題】**(解答番号は⑨)

傍線部Bを含む段落とその次の段落をよく読めば正答は導けます。正答率は95%でした。

**問5【文脈把握と内容理解に関する問題】**(解答番号は⑩)

傍線部Cの3つ4つ後の段落を読めば正答はすぐに導けるはずです。正答率は66%でした。

**問6【言葉の知識を問う問題】**(解答番号は⑪)

「<sup>ひるめし</sup>昼飯」は和語ですが、「昼食」は和語ではなく漢語です。正答率は41%でした。

**問7【文脈把握と内容理解に関する問題】**(解答番号は⑫)

傍線部Eの3つ後の段落をよく読めば正答は得られます。正答率は66%でした。

**問8【文脈把握と内容理解に関する問題】**(解答番号は⑬)

傍線部Fの次の段落に正答を導くヒントが書かれています。正答率は91%でした。

**問9【文脈から言葉の意味を特定する問題】**(解答番号は⑭)

傍線部Gと②の「どうでしょうか」は批判的ニュアンスを持ちます。正答率は95%でした。

**問10【文脈把握と内容理解に関する問題】**(解答番号は⑮)

傍線部Hの2つ前の文がヒントになるでしょう。正答率は79%でした。

**問11【文脈把握と内容理解に関する問題】**(解答番号は⑯)

傍線部Iの2つ後の段落を読めば正答を導くのは難しくありません。正答率は89%でした。

**問12【内容を理解して小見出しを選択する問題】**(解答番号は⑰)

正答率は79%でした。この節で著者が最も言わんとすることは傍線部Aの一文あるいは節の最後の一文にまとめられていますので、正答を選ぶことは難しくありません。

**問13【内容を理解して小見出しを選択する問題】**（解答番号は 18）

正答率は63%でした。この節の第一段落で著者は日本語について論理的に構成されているにもかかわらず、日本人はその遺産（論理性）を十分に生かしていないと述べています。④を選ぶ誤答が散見されましたが、国際化社会が求める論理性そのものを議論している訳ではありません。

**問14【内容合致問題】**（解答番号は 19）

正答率は25%でした。①や⑤を選ぶ誤答が多かったです。①は「現在の社会」が誤り（本文には「これからの社会」と書かれている）、⑤は「古来一貫して」が誤り（本文では「鎌倉・室町時代から」）です。

## II

出典 『複雑系の意匠』（中村量空）中公新書

「複雑系」という用語を初めて見た受験者もいたかもしれません。しかし、本文は「単純なシステム」と「複雑なシステム」との関係をしっかりと押さえれば、難解ではありません。受験者はキーワードを押さえ、全体の把握ができていたようです。

**問1【漢字の書き取り・読みの問題】**（解答番号は 20～26）

全問正答は受験者の18%でした。漢字の書き取りについては、他者が見てもわかりやすい、はっきりした丁寧な字で書きましょう。

**問2【空欄補充】**（解答番号は 27・28）

Ⅰは⑥、Ⅱは③が正答です。Ⅱについては⑤を選択した受験者がいました。おそらく、空欄の前にある「不規則な動き」に着目したためと推察しますが、本文ではこれを「非線形性」としています。正答率は84%、36%でした。

**問3【空欄補充・内容把握】**（解答番号は 29）

直前の「部品の量と種類が増加すると複雑度は増大する」がヒントです。正答は③です。

**問4【空欄補充・内容把握】**（解答番号は 30）

正答は②。受験者はよく読んで解答ができていました。

**問5【空欄補充・内容把握】**（解答番号は 31）

前段落最後にある「象の全体をイメージすることはできない」に着目しつつ、空欄ウの前後の内容を丁寧に読めば正答を導くことができます。正答は④です。正答率は32%でした。

**問6【内容把握】**（解答番号は 32）

正答は①。②は「バネのような線形的な働き」、③は「組み合わせ方によって複雑さが変化する」、④は「別の新たな性質が加わると、部分に加わるエネルギーは散逸し」、⑤は「その調整が複雑である」、⑥は「産み出す唯一のものである」、以上の点が間違いです。

**問7【内容理解】**（解答番号は **33**）

正答は③。①は「部品を複雑に接着させる」、②は「設計図とは別の全体像をイメージしながら」、④は「複数ある完成像」、⑤は「全体が完成すると部分の働きが異なるように」、⑥は「部品をできるかぎり簡単に接着させる」、以上の点が間違いです。

**問8【内容把握】**（解答番号は **34**）

正答は⑤。他の選択肢はすべて非線形性のものです。

**問9【内容把握】**（解答番号は **35**）

正答は②。受験者はよくできていました。正答率は95%でした。

**問10【内容把握】**（解答番号は **36**・**37**）

正答は⑤・⑦。①「現代社会を真正面から言い表している」、②「複雑なシステムを単純なシステムに還元するため」、③「非線形性システムといった考えに至るようになったのは」当時はそこまで考えていない、④「「線形性」は「カオス」と呼ばれる動きを見せる」、⑥「この思考方法を積み重ねることで思考が飛躍し、よいアイデアがもたらされることもある。」、⑧「自分独自の自律的な思考方法をもつ必要がある。」以上が間違いです。二つとも正答を選択できた受験者は43%でした。

**問11【表題を考える】**（解答番号は **38**）

本文では線形性の思考から非線形性の思考をすることの大事さを述べています。全体の流れを押さえると、正答は⑥です。正答率は16%でした。